

# あさひの子

～自分から 自分で～

## 自ら正しく行う子

大村市立旭が丘小学校学校だより NO.22

令和8年3月13日 校長 永富 伸介

### 学校評価について

12月に学校評価アンケートを実施しました。御多用の中アンケートへの御協力大変ありがとうございました。結果については添付の一覧表を御覧になられてください。保護者の皆様には、ほぼ全項目で肯定的評価が80%以上かつ半数以上の項目において90%以上の良い評価をいただくことができました。



特に「生活や安全の決まりをまもる」「命や人権を大切にする」このことは、本校の教育活動の中で教職員が最も力を注いでいる「命」「安心・安全」に関わる項目でもあることから嬉しい結果となりました。長寿命化工事による引越や短くなった昼休み、狭すぎる運動場、使えない体育館、移動体育、各種行事等の予測困難な状況下でも、保護者の皆様の御協力を得ながらみんなでアイデアと工夫を出し合ってきた成果であると考えます。

「子どもの挨拶」「いじめ防止」「不登校改善の努力」の項目についても昨年度より向上しており、これもまた日々の指導への御理解をいただいたものとありがたく感じています。

課題については「家庭学習の充実」「個別最適な学び・協働的な学び」「読書活動の充実」が肯定的評価90%に届きませんでした。今後も読書活動の楽しさやよさを伝え続けていく必要がありますし、メディアとの関わり方も考えていかねばなりません。家庭学習については校内における職員の研修でも課題意識をもって取り組んでいかねばなりません。3学期からは1年生もタブレット端末の使用を開始しました。eライブラリ等の学習ドリルにも意欲的に取り組んでいるところです。こうした個に応じた指導や支援も継続していきます。

保護者の方からいただいたコメントにはたくさんの励ましのお言葉がありました。一方で以下のような御指摘もありました。

- ① 友達とのトラブルや心の葛藤について、もっとアンテナを高く張って欲しい。
- ② 運動場が狭く、「昼休みが短いことによるストレス」がかかっているように思う。
- ③ 先生方の子どもへの接し方が気になります（言葉遣いや振る舞い、初期対応等）。
- ④ 学級通信等での情報発信が欲しい。

こうしたお声を真摯に受けとめ、職員と課題を共有しながら、よりよい学校づくりを目指して改善していきます。何かありましたらお知らせいただき、一緒に考えさせていただけると幸いです。

### 第2回学校支援会議

3月6日（金）に第2回学校支援会議を行いました。学校を地域で支えてくださる皆様をお招きし旭っ子の地域での様子や地域の皆様の思いを語り合う場でもあります。本校の教育活動の現状や課題、学校評価の結果についてお知らせさせていただきました。いろいろな御意見をいただきましたが、「どうすれば地域と子どもたちとのつながりをもっとをよりよくできるか」ということでした。地域の方々には朝の立哨や愛の声かけ運動、健全協の活動（ラジオ体操やもちつき）で子どもたちを地域ぐるみで育て支えていこうと取り組んでおられます。町内会加入や子ども会の在り方にも話が及び時間が足りなくなるほどでした。



ある学校評議員さんが最後に、ある子が「あいさつの先生！（立哨の方のこと）ありがとうございました」という朝の挨拶に添えた一言に大きなエネルギーをもらいました。とお話ししてくださりました。言葉のもつ明るいエネルギーに私も元気をもらいました。